

2022年度 第1回 公立大学法人埼玉県立大学経営審議会 議事録

1 日 時

2022年6月21日（火） 14:40～15:45

2 開催方法

WEB会議

3 出席者

田中議長、星委員、阿部委員、伊藤（善）委員、荻野委員、岡島委員、井橋委員、松田委員、池田委員
欠席：伊藤（博）委員、

4 出席教職員

鈴木副学長兼学部長、金村研究科長、濱口研究開発センター長、林学生支援センター長、延原情報センター所長、
田口地域産学連携センター所長、滑川保健センター所長、福田副局長、森調整幹兼総務担当部長

5 議事概要

【審議事項】

審議事項1 令和3年度業務実績報告書（案）について

資料に基づき、福田副局長から説明された。

案のとおり、異議なく承認された。

主な発言は以下のとおり

- ・先日、知事に報告した際には、中期目標はほぼ達成できているとコメントがあった。
 - ・コロナ禍において、大学運営をよくやったと思う。マスコミ報道では他の大学においては、学生とコミュニケーションがとれない、学生から不満が相当あったと聞いている。そういった不満がなかった点は、実績報告書の中で記載してはどうか。
- もしかしたら、内心不満があったかもしれないが、評価いただきありがとうございます。

審議事項2 第2期中期計画業務実績報告書（案）について

資料に基づき、福田副局長から説明された。

案のとおり、異議なく承認された。

審議事項3 令和3年度決算について

資料に基づき、福田副局長から説明された。

案のとおり、異議なく承認された。

審議事項4 令和4年6月修正予算について

資料に基づき、福田副局長から説明された。

案のとおり、異議なく承認された。

審議事項5 2018年度認証評価の改善報告書の提出について

資料に基づき、伊藤副学長から説明された。

案のとおり、異議なく承認された。

主な発言は以下のとおり

- ・指摘事項は、全て改善されたということか。
- 改善したという過去形のもの、進行形のもの含めて報告することとしている。

審議事項6 教員人事委員会委員の指名（案）について

資料に基づき、福田副局長から説明された。

案のとおり、異議なく承認された。

報告事項1 大学院等の改革について

資料に基づき、伊藤副学長から報告された。

主な意見は以下のとおり

・県内の大学院の不足は看護分野が特に顕著であり、現状、東京都内の大学院に進学するのが当たり前の状況となっている。そのような状況下において県立大学における高度専門教育のニーズは極めて高い。特に CNS（専門看護師）の育成については、県立大学に依存している状態にある。今後、医師のタスク・シフト／シェアの問題も絡み、より高度実践の看護師が求められる時代になる。ぜひ、改革を進めていただきたい。

・2025年度から実施のスケジュールとなっているが、もっと早期実施とならないのか。

→文科省に2年前ルールというものがあり、入試制度等が変更になる場合は2年前に公表しなければならない。2022年度末に公表した場合、2025入学者から適用となる。大学院改革は、学部の編入学の見直しとセットと考えており、教員の人事に影響し、県からの運営交付金にも関わるので、県との調整も必要となる。そのため、基本的には2025年度から実施になると思う。しかし、大学院改革の内容も様々であるので、すぐできるものは、なるべく早く実施したい。

・学部と大学院の一貫教育コースを設定するということが、例えば看護では、本学の教員採用においては臨床・実務経験が必要になるが、臨床・実務経験がないまま博士になる場合のキャリア、ライフコースがイメージしづらい。

→現在の大学院のコースは一般的なもののみで、高度実践を学びたい者、研究者・教育者になりたい者が混在している。改革により目的ごとに明確化を図りたい。学部・大学院一貫教育コースは、理学療法、作業療法や臨床検査などの研究者を目指す方がメインになると思う。分野により一貫教育コースが馴染むものとそうでないものがあると思う。これまでの検討では、看護学専修は馴染まないと考えており、一貫教育コースは設定しない方針である。

報告事項2 2021年度卒業生の就職・進学状況について

資料に基づき、林学生支援センター長から報告された。

報告事項3 2022年度科研費の採択状況について

資料に基づき、濱口研究開発センター長から報告された。

報告事項4 令和3年度予算の繰越について

資料に基づき、片岡財務担当部長から報告された。

以上